

平成3年1月17日に産声を上げて

「小野川と佐原の町並みを考える会」が30周年を迎える ～苦難の歴史を積み重ねて、いまコロナ禍に立ち向かう～

昭和四八年に文化庁の町並み調査の翌年に正文堂書店と小堀屋本店が千葉県指定文化財に指定され、昭和五七年の日本観光資源保護財団の町並み調査の後、昭和六三年の竹下内閣の「ふるさと創生」でようやく始動して、平成三年一月十七日に代表世話人に堀井健男氏を選び、「佐原の町並みを考える会」が設立されて三十年が経過しました。代表世話人は、二代目清宮利右衛門氏が平成八年十二月に宿願であった「国の重伝建地区選定」を実現し、三代目加瀬順一郎氏（「考える会」の初代理事長）が「考える会」のNPO法人化を成し遂げました。

あやめ祭の時期は、歩行者天国の小野川沿いには観光客が溢れ、平成二十年には交流館の入場者数は年十五万人、町並み案内班のガイド回数は年五百回を超えました。本宿に賑わいを呼び込んだ八坂神社を会場の骨董市には毎回千五百人もの入場者となりました。



佐藤健太良理事長

三十年を振り返って思う

理事長 佐藤 健太良

発足から重伝建地区選定まで

平成二十一年、二十二年と順調に推移しましたが、平成二十三年三月十一日に東日本大震災が発生。国指定文化財一棟、千葉県有形文化財八件十三棟が屋根瓦の崩落や壁の亀裂等、重伝建地区と景観地区の建物が液化化による被害、香取市内でも約六千棟の建物に重大な損傷がありました。

直後の香取市の被害調査には「考える会」からも会員が同行して、住民から被害状況を聴取しました。二代目理事長の高橋賢一氏は、県指定や重伝建地区内の建物の被害状況をすばやく把握して県指定建造物所有者による「千葉県指定有形文化財を守る会」を立ち上げるために尽力しました。また「千葉県へ補助金率の積み上げ交渉」や「ワールド・モニユメント・ウォッチリスト」への手続を推進して、アメリカン・エクスプレス社の支援を取り付ける等、

三十周年記念アルバムはDVDで編集。TVとPCで視聴可能。豊富な写真と資料がご覧いただけます。



「四季島」大型バス乗客の出迎え 2/12/5



第67号
令和3年2月

発行 NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会保存会
お問い合わせ 佐原町並み交流館
電話 0478(52)1000

災害復興と震災支援活動に専心しました。
令和元年九月九日には台風十五号が来襲して長期の停電と断水・通信障害や記録的な強風で小野川沿いの柳などが倒されました。同年十月十二日の台風十九号では、突風により久保木家（油惣）や正上の建物が一部損傷しました。

さらに、利根川上流の大雨による利根川決壊が危惧されて自衛隊員が佐原地区に派遣されました。
令和二年に入ると、新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大して、現在二度目の緊急事態宣言が発令中ですが、観光業への損害は甚大で、町並み案内の受付は全件がキャンセルになり交流館入場者数も例年の二〜三割となっています。

新しい佐原の景観に期待
以前のよう賑わいがいつ戻るか心配している所ですが、現在保存修理中の「旧川崎銀行（三菱館）」が令和四年三月には完成の予定であり、電線地中化工事も終わるでしょう。コロナ禍が終息すれば、昔とひと味違った景観を皆様にお見せすることが出来ると思っています。
「考える会」が三十年を迎えるに当たり、これまでにご尽力を頂いた香取市を初め、多くの皆様のご支援に比べられるように安全・安心の態勢を確立して一層の努力を致します。

NPOの主な事業

- 七月 五日 第一六五回骨董市
十日〜十二日 本宿祭礼中止
十四日 三菱館検討委員会
二十三日〜二十六日 竹灯り
二十八日 第二回案内班会議
三十日 理事会
 - 八月 二日 第一六八回骨董市
七日 香取市文化財保存活用地域計画協議会
十七日・二十日 さわらぼ
二十五日 第三回案内班会議
二十七日 考える会創立三十周年記念事業委員会
 - 九月 六日 骨董市中止
十日 三菱館内覧会
十六日 小野川清掃
二十四日 第四回案内班会議
- 次頁下段へつづく

コロナ禍の中、町並みの案内の変化 青柳 英男

佐原町並み交流館への海外からの入場者数は、2019年度は1万人に達した。また、台湾やタイからの観光客に加えて欧米からの訪問客も増えつつあった。その中で新型コロナウイルスのパンデミックが発生した。成田空港内も薄暗く人波が消えた。

修学旅行の代替として

こんな状態でも、町並み案内申請は辛うじて続いた。まず、目立つのが小学4年生の校外学習としての見学に加えて、修学旅行の代替として佐原の町並みを見学する申請が増えたことだ。他県への旅行が制限される中、中学生たちが歴史的町並みを修学旅行先を選んでくれたのだ。

コロナ対策を万全にして

ガイドの人数を従来のに増やして、生徒のグループを午前組と午後組に分けたり、生徒数も半分に減らした。マスク着用やソーシャル・ディスタンスインクを保ち、コロナ対策も万全にとっている。

コロナ禍での小、中学校生のガイド状況

Table with 4 columns: 案内日, 学校名, 生徒数, ガイド. Rows include 2/9/9 匝轡市立須賀小 (26, 2), 30 八千代市みどりが丘小 (84, 6), 10/7 旭市立飯岡小 (40, 2), 29 千葉市立千草台中 (73, 4).

観福寺、正上、伊能家旧宅、交流館にガイド各1名配置

Table with 4 columns: 案内日, 学校名, 生徒数, ガイド. Rows include 21 君津市立八重原小 (51, 2), 23 船橋市立大穴小 (80, 4), 24 千葉市立幕張中 (126, 4), 27 千葉市立西小中台小 (45, 2), 11/5 千葉市立坂月小 (20, 1), 5 旭市立古城小 (17, 1), 18 柏市立酒井根小 (108, 6), 19 市川市立八幡小 (112, 6), 26 市川市立福栄小 (45, 2), 30 千葉市立横戸小 (24, 1), 12/2 市川市立妙典小 (120, 8).

午前、午後組に分けて、ガイド各4名 計8名

Table with 4 columns: 案内日, 学校名, 生徒数, ガイド. Rows include 4 市川市立北方小 (35, 2), 8 我孫子市立布佐南小 (41, 2), 17 千葉市立柏台小 (66, 4), 3/1/8 千葉市立花見川第三小 (12, 1), 14 東金市立源小 (4, 1).

説明内容に工夫をして

伊能家旧宅では、忠敬の扮装をして語り、山車祭の囃子「砂切」と関連する歌舞伎について語り、笛を一曲奏でたりもする。(感染防止のため笛演奏は自粛している) ジャーチャー橋を歩測して渡り、記念館裏に設置してある象限儀の前で伊能忠敬測量隊の天体観測について説明する。子供たちが望遠鏡を覗くと星ではなく忠敬の肖像シールが

見えるので笑うが、太陽光から目を保護するためと説明する。

生きている佐原を紹介

福新呉服店、小堀屋蕎麦店、正文堂の前で屋根や庇、格子窓などを見た後、町屋館へと誘導する。町屋館一階では「佐原屋」店主が常に笑顔で応対してくれる。二階の和室に入ると子供たちは「おじい



交流館入口でAIの「正常です」で入館

交流館で体温チェック

正上の店舗を巡って佐原町並み交流館に着き、入口で自動体温計のチェックを受ける。有形文化財のドール・ハウスを紹介してお別れだが、ここで忘れてならないのはバスに乗る前にトイレを済ませておくことだ。運輸省通訳ガイド研修で習ったことを思い出した。

画家を魅了する町並み

「コロナ禍終息後は、ぜひ佐原の町並みを描きたい」と遠方の友より便りがあった。学生時代は絵の話などしなかったのに、父親譲りの画才に気づいて退職後は画集を出したとか。佐原には画家を魅了してやまない何かがあるらしい。

第43回 全国町並みゼミ 桜川市真壁大会はライブ配信で

コロナ禍で全国大会は中止決定がされていましたが、地元で再度協議の結果、2020年11月22日(日)にWEB上での開催が決まりました。「これからの町並み保存とは? たび重なる災害からの復旧と新しい生活様式の中で」をテーマに開催にこぎつけた桜川市の決断に敬意を表します。

Calendar table for 令和三年 (2021) with dates and events. Includes 一月三日 第一七〇回骨董市, 二月七日 コロナウイルスにより午後五時以降の研修室閉鎖 第八回案内班会議, 十月四日 第一六七回骨董市, 十月七日 オリジナルピック・パラリーニック聖火リレー千葉県警打ち合わせ, 十月九日 竹灯り, 十月十七日 簡易消火栓放水訓練, 十月二十九日 第五回 案内班会議・理事会, 十一月一日 第一六八回骨董市, 十一月二六日 第八回案内班会議, 十一月二十九日 明治大学伊能忠敬歩測, 十二月三日 三十周年記念事業委員会, 十二月六日 第一六九回骨董市, 十二月九日 千葉大学町並み看板調査, 十二月十七日 三菱館検討会議・市役所, 十二月二二日 文化財協議会・市役所, 十二月二三日 第七回案内班会議.

千葉県指定文化財「三菱銀行佐原支店旧本館」

ゆかりの「清水建設千葉支店」が修復工事③

屋上から巡る内覧会に参加して

根本 香子

文化財としての価値を

昨年九月十日と今年一月十三日の二回行われた現場内覧会に参加して、案内役の工事長・樋山裕己氏から丁寧な説明を聞き、大正三年に建設された「川崎銀行佐原支店」の姿に近づける厳しい修復作業には感銘しました。耐震力補強のために煉瓦壁内に鋼棒を縦に通し、内・外方向への倒壊を防ぐために水平の鉄骨を取り付けてあります。屋根に葺く三千七百枚の石板



「三菱館」修復工事の2回目内覧会

も、交流館に保存されていた一枚の天然石板を参考に加工したものを使用したようです。

焼けたドーム屋根の木骨

ドーム屋根の焼け焦げた木骨部分の痛々しい姿を見ました。昭和三七年頃に近隣で発生した火災で北西部分の隙間から飛び火が侵入し木骨部分を蒸し焼きにしたようです。「焼けた部分を交換すれば済む」というのでは原形を保存したとはいえないので、入手困難な松材の代わりに杉材で両側から焼けた部分を挟み込んで固定しています。国内の工場で焼かれた煉瓦は

四社の工場の刻印が確認されていて、堅牢な「イギリス積み」の表面は化粧煉瓦タイルが貼られます。また内装壁は漆喰が四層に塗り重ねられます。防火シャッターは「大野式特許品合資会社」製で、これも交流館に保管されていた一丁のハドルが役に立ち、現在も巻き上げ開閉が可能です。

消えていた施設も復元

ドーム屋根は新しい銅板の赤橙色と建設当時の緑青に覆われた装飾部が混在しますが、数十年後にはピカピカの銅板も緑青に覆われるということです。建設当時にあった螺旋階段、暖炉と煙突、営業カウンター等が復元されるのも楽しみです。

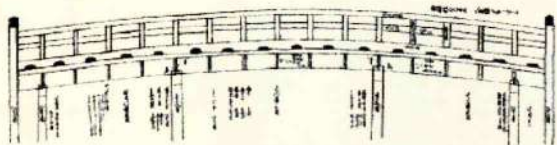
江戸時代の忠敬橋

酒井 右二

現在の忠敬橋は。江戸時代も町並みの中核地点となっていました。ここは台地から下りて香取神宮に向かう香取道と利根川本流へつながら(当時は「佐原川」)の交差点で、陸路と水路を結ぶ物流の結節点であったからです。

忠敬橋は、前に協橋(かなえばし)と書いていましたが、近世の絵図では、単に「大橋」と記されています。現在の佐原町並み交流館の前に本宿側の用水路がありましたが、香取道がこの用水路に架かった橋が「小橋」と記されています。また、新宿側の用水路が樋橋から現在の銀座通り沿いにありましたが、これに架かった橋も同様に記されています。

その「大橋」の建設に関する記事が、伊能家文書に記載されています。元禄16年(1703)6月、佐原を支配する4人の旗本へ設計図を提出しています。下図がその写しですが、川幅は7間(約12.6m)で、橋は両側に3尺(0.9m)広げ、長さ8間(約14.4m)、幅2間(約3.6m)、欄干の高さは3尺7寸(約1.1m)ありました。



この年の11月には元禄大地震、翌年は利根川洪水に見舞われ、架け替えは2年後の宝永2年(1705)4月14日で、その工事人夫は各村組へ割り当てられ、15日に渡り初めの祝賀行事が施行されました。工事の請負人は入札で、中宿の源七郎に決まり、金額は木材や切り込みなどの経費で48両余(500万円以上)でしたが、資金不足で欄干を低くして45両で発注します。この経費のうち、領主と旗本から12両、村内の百姓から13両余残りは芝居興行の上納金20両ほどで賄いました。橋の修復金は、この前後も芝居興行の上納金を積み立てし、計画的に当ててきていることが注目されます。

交流館の展示

常設展示 佐原工芸作品展(十名の作品展示)

七月十二日～二日 風鈴展・本宮 華水

七月十四日 ショーケース 古文書

・測量器具展示

八月二日 自動サーモグラフィの設置

八月三日～九月十一日「古河博章 作品展

九月十二日～二日 樋の道 切り

絵サークル作品展

十月八日～十八日 佐原の町並み写真展 篠塚喜一

十月十九日～三十一日 大人の塗り絵展 サークル・レイン

ポ一

十一月一日～六日 北総四市の文化事業・文化遺産と観光

十一月七日～三日 北総四市の文化事業・野口正博切絵展

十一月二十五日～二六日 佐原の大祭

十二月十二日 写真展 篠塚喜一

十二月十六日 席上揮毫 本宮華水

十二月十六日 席上揮毫装幀 根本 表具店

十二月二十八日 つる工芸展 藤ヶ崎 たつ子

一月八日～二月七日 新型コロナウイルスによる午後八時以降研修室閉鎖

一月十二日 全館清掃

町並み案内班の三十年

昭和六三年に公民館事業の市民の為の「歴史講座」が開設された際、郷土史に強い関心のあ

その経験から「郷土を知る」ことの大切さに気付きました。そこで、千葉県内の公民館関係者に「佐原の研修で学んでポラ

際に、会の役員から「小野川沿いの案内を同じようにやってくれないか」という申し入れを受けました。平成七年の初めのこ

同年十二月十日に佐原の町並みが「国の重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。三菱館が「考える会」に管理委託された後には、月一回の案内班会議が始まりました。

JR東日本のクルーズトレイン トラン・スイート「四季島」が 佐原駅に停車



令和2年12月5日(土)午後1時半過ぎに豪華列車「四季島」が佐原駅に到着。停車時間は数分でしたが、チーバくんも加わって多くの市民や鉄道ファン、子供たちが出迎えました。



写真：1月28日の定例会の後で

司さんの作製した資料を持って史跡を巡る研修会を度々開きながら会員を増やしてきました。東京から通って来る会員もいるくらいです。

富士山の高さを、伊能忠敬の挑戦！

忠敬は一番目

日本で最初に富士山の高さを測定したのは享保十二年(1727)の福田某で、駿河国吉原駅から三五町六分二一六三(3847.5m)と出した。伊能忠敬の算出は、享和三年(1803)年で、二番目となる。



忠敬の富士山の高さ測量は、箱根宿、三島宿、沼津宿、西倉沢村、原宿、吉原宿の六ヶ所だった。高い測量精度 忠敬の測量値には測量地点の標高が加算されていないのを考慮して試算すると、六ヶ所の高さの平均+標高の平均=3797.67mとなる。

丸い地球と光の屈折を補正した結果から算出した結果は1%程度に収まるという。現在の高さと比較しても、わずかにプラス22センチほどの差しかない。

忠敬にとって富士山は...

測量地点から方位角を測って引いた直線が集中する所である。山頂と測量地点との長さに縮尺数を掛ければ、実際の距離となる。忠敬はその距離(L)を伊能図の下図(大図)から求め、各地点から角度(仰角・高度角 alpha)を測り、三角関数の対数表(当時は割円八線対数表)を使って富士山の高さ(h)を算出した。

富士山の位置の確認は二七四ヶ所にもなる。房総半島では洲崎に四泊、銚子に九泊もして富士山の見える日を待って方位を測っている。富士山には特別な思い入れがあった。伊能大図の「富士山」には第100号(100番)を与えている。(平澤節夫)